

陳情番号	71-2	付議年月日	3. 2. 22
件名	コロナ禍、女性の命と暮らしを守る体制強化を求める陳情		
付議委員会	陳情者		
産業労働常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		
<p>陳情趣旨</p> <p>コロナ禍、女性就業者、非正規労働者の数が減り、貧しい人ほど収入が下がっていることが、データでもはっきり示されています。</p> <p>「実質的な失業状態」にあるパート・アルバイトの女性は全国で90万人との推計を野村総研が発表。37.5%が200万円未満、6割が400万円未満の世帯です。特にシングルマザーの家庭は深刻な生活苦に直面し、医療・介護・保育など社会に不可欠なエッセンシャルワーカーの劣悪な待遇など、どれも大きな社会問題になっています。</p> <p>DVや10代の妊娠相談が急増し、女性と少女への暴力が深刻です。</p> <p>さらに国内の自殺者が前年に比べ増加し、特に女性と若者の増加率が高くなっています。いつ収束するのか先の見えない不安が女性を追いつめ、若年層の女性の社会的孤立も心配です。平時から弱い立場に置かれている女性に確実に届く現金支給など国が早急に具体的な支援を打つべきです。</p> <p>女性の命と暮らしを守る体制の充実・強化を求め、次のことを陳情します。</p> <p>陳情項目</p> <p>1 <u>就職相談窓口やDV相談の窓口など相談体制を充実・強化してください。また専門知識と権限を持った相談員を養成してください。</u></p> <p>2 <u>国へコロナ禍の実質的な失業状態にある女性に確実に届く現金支給を行うよう意見書を提出してください。</u></p>			